



2022.1.15

No.570

一般社団法人
群馬県労働者福祉協議会
〒379-2166 前橋市野中町361の2
TEL027 (263) 3443
URL <https://www.gunma-rofukukyo.or.jp>
e-mail: post@gunma-rofukukyo.or.jp
発行責任者 浅賀道夫

2022年 年頭挨拶

一般社団法人
群馬県労働者福祉協議会
理事長 佐藤英夫



新年あけましておめでとうございます。

一昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は昨年 10 月から感染者が急速に減少しました。しかし、その正確な原因は判然とせず、その証拠のように世界の中では依然として拡散を続けている地域もあります。

このような状況下、産業によっては企業収益が著しく悪化し、経営継続が困難となり、廃業や倒産、労働者の解雇という形で暗い影を落としています。新しく発足した第 2 次岸田政権では、18 歳以下の子供に対し定額 10 万円の給付を決定したところですが、困窮しているのは子供のいる家庭に限らないのではないかと危惧しています。

もちろん、働き、収入を得ていくことが健全であり、そのことを一刻も早く取り戻すことが急務です。ただ、努力してもそのことができない産業や労働者がいることも明らかで、これらの産業や労働者に対する手厚い支援が求められているのだと思います。極めて難しいことと承知していますが、行政関係の皆さんには、改めて現状の把握と課題整理、そして限られた財源の中での有効な対策を検討していただくことを期待します。ぐんま労福協では、コロナ禍の中で中止せざるを得ない事業もありましたが、できる限りの社会貢献活動を実施してきました。併せて、会員間のネットワークを作り上げ、労働者や生活者の課題を掘り下げ、できる限り一体感を醸成する努力も行ってきました。引き続き、行政関係の皆さんや経営者団体の皆さんとも連携しながら、この難局を乗り切っていきたいと考えています。

今年も、依然として新型コロナウイルスの脅威は続いていくものと思います。このウイルスとの闘いの中、産業を支える労働者がすべてエッセンシャルワーカーであり、産業間の連携が無ければ私たちの生活は立ち行かなくなるという事実を実感することができました。このことを忘れずに、改めてすべての労働者に光が当たり、労働者福祉を実感できる社会を目指していきます。

今年も、会員の皆さんとしっかりスクラムを組んで、労働者のために活動することを誓い、新年のあいさつとします。

2022年 年頭挨拶



労働者福祉中央協議会

会長 芳野友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、日本社会の脆弱さが浮き彫りとなった今、公的支援の強化を求め、安心して暮らせる社会にむけて継続的に取り組むことが重要です。中央労福協は「生活・就労応援基金(ろうふくエール基金)」を立ち上げ、様々な団体や個人から多くのご協力をいただき、困難を抱える人たちへの生活・就労支援活動を応援してきました。

第3期奨学金制度改善・学費負担軽減運動では、誰もが安心して学べる社会をめざし取り組みます。

私たちはコロナ禍により行動が制限される中であっても、これまでの運動で培った経験を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてコロナ危機を乗り越えていかなければなりません。「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会にむけての労働者自主福祉活動を進めて参ります。「2030年ビジョン」の実現をめざし、ともに前進していきましょう。



臨時ライフサポート相談会



昨年度に続き専門のカウンセラー(ラポール企画契約)による、新型コロナ関係の相談を中心に「なんでも相談会」を実施しました。4月～11月にかけて延べ16回開催し、総相談件数は125件でした。主な相談内容は、職場内・家庭内での人間関係に関するものや、コロナ禍の中で抱えている悩みや不安に関するもの等でした。11月末日現在の相談状況は下表のとおりです。引き続き3月末まで第2・第4日曜日に継続いたします。

①相談内容別

主な相談内容(複数回答あり)	人
職場の人間関係・パワハラなど	37
家族の病気や人間関係など	23
健康(心身)に関する事など	24
自分や子供の就職・就業など	6
今後の生活やキャリア形成など	11
その他(意図不明等)	45
合 計	146

②雇用形態別

雇用形態	人
正規社員	28
パート	17
アルバイト	0
派遣・契約社員	4
無職	36
不明	40
合 計	125

③年代別

年代	人
20代	24
30代	8
40代	48
50代	15
60代	0
不明	30
合 計	125

④性別

性別	人
男性	55
女性	54
その他	0
不明	16
合 計	125

⑤居住地別

前橋	高崎	桐生	伊勢崎	太田	富岡	不明等	合計
39	34	2	5	15	1	29	125

(11月末日現在)

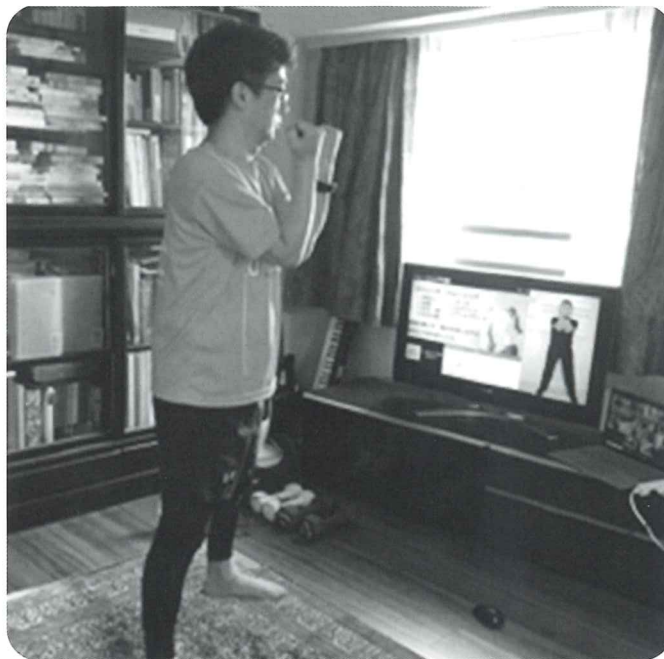
2021年度 第1回勤労者福祉セミナー

《 おうちで RIZAP 》

コロナ禍におけるセミナー開催ということで、2020年度は開催を見送りました。今年度は企画委員会でオンライン開催を検討し、巣ごもり中の健康推進ということで、「おうちで RIZAP オンラインセミナー」を8月28日(土)に開催いたしました。(Zoomを使用)

申込数は90名、当日アクセスアカウント60アカウントでした(職場で複数の方での視聴もあったようです)。また、見過ごした方のために、開催後2週間を限度にアーカイブ動画を視聴できるよう設定しました。終了後のアンケート結果から、参加者全員に満足して頂けたようです。

次回以降も、オンラインセミナーを選択肢の一つとして、With コロナの時代にマッチした企画を検討して参ります。皆様のご参加をお待ちしております。



オンラインセミナー実施の例

2021年度

ファイナンシャルプランナー3級養成講座

2021年度FP養成講座は、11月20日(土)の第1回講座を皮切りに12月18日(土)までに延べ4回開催しました。当初9月～12月に月1回のペースで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、11月20日以降に寄せた開催となりました(定員70名の会議室において受講者15名)。講師には寿みらい資産設計株式会社の山田氏をお招きし、ファイナンシャルプランナー3級取得に向け講義を行いました。いずれも講義内容は丁寧でわかりやすく、2022年1月・5月の受験へ向けた具体的なアドバイスをいただきました。



講義の様子

第6回石垣島環境ボランティア

1 1月6日から8日、会員団体から9名、一般から2名計11名の方に参加いただき、第6回石垣島環境ボランティアを実施しました。初日は羽田空港から石垣島直行便にて出発し、夕方アンパルの自然を守る会の谷崎樹生氏より、工場や家庭からの排水や護岸工事・道路工事等によりマングローブ植物が育たなくなり、湿地草原が出来始めている現状や自然の防波堤としての役割を果たしているマングローブの重要性について講演をいただきました。

2日目は、史跡や展望台等を訪ね、島内の地形や歴史について説明を受けた後、崎枝南干潟にてヤエヤマヒルギの苗の植樹と、以前から課題となっていた「清掃活動」を実施しました。短時間での作業でしたが、清掃活動により収集したゴミは予想以上に多く、今後の活動の必要性や強化を感じるものでした。

午後は、ラムサール条約に登録されている名蔵アンパルマングローブ湿地をトレッキングし、その生態系や環境変化について説明を受けました。



事前学習会の様子



植樹の様子



清掃の様子



参加者の皆さん・回収したゴミ

2021年度 東日本大震災復興支援ツアー 「あの日を忘れない」

東日本大震災から10年あまりが経過しましたが、被災地の再建にはまだまだ多くの時間を必要としており、被災地に寄り添い継続した支援に取り組むことが求められています。ぐんま労福協では、こうした被災地支援活動の一環として今年も東日本大震災復興支援ツアーを実施いたしました。

今回は、東日本大震災による影響を多く受け、今なお復興対策の続く双葉町にある「東日本大震災・原子力災害伝承館」視察を中心に訪問しました。参加者は会員13名と一般から2名の総勢15名でした。



東日本大震災・原子力災害伝承館の様

2021年度ぐんま労福協事業団体連携委員会視察研修

ぐんま労福協事業団体連携委員会は、「勤労者の福祉向上」と「各事業団体の連携・事業基盤強化」を主な目的として、県内の福祉事業団体で構成し各種取組みを企画・実践しています。

今年度は12月11日～12日にかけて、気仙沼市東日本大震災遺構&伝承館の視察や、南三陸東日本大震災語り部ツアー等に参加しました。県内の労働者福祉事業団体より11名の参加となりました。

震災遺構・伝承館となった気仙沼市の向洋高校校舎にて、同高校卒業生の語り部から、当時の様子や対応、同じ悲劇を繰り返さないための準備等、多くのことを教えていただきました。事業団体の皆さんも受け止めたことを持ち帰り、職場の中での伝承者として行動することなどを誓い合いました。



震災遺構となった向洋高校卒業生による語り部の様子

第13回事業団体連携委員会チャリティーゴルフ大会

10月28日、県内勤労者の交流や健康増進・福祉事業団体の浸透等を目的として、小幡郷ゴルフ倶楽部にて総勢名の79参加で開催しました。今回も昨年同様、終了後の賞品配布等はせず、スタート受付のみの設置など、最小限の対応とさせていただきました。チャリティ金は92,000円となり、12月8日に「群馬いのちの電話」に全額寄贈いたしました。主な受賞者は下表のとおりです。

順位	氏名（敬称略）
優勝	松井 恵二
第2位	舎利倉 慎
第3位	中澤 正和
ベスグロ	新井 綾乃

ドラコン・ニアピン	氏名（敬称略）
6番：ニアピン	金井 隆広
7番：ドラコン	川又 敏之
14番：ニアピン	新井 綾乃
15番：ドラコン	及川 隆之



寄付金をぐんま労福協会佐藤理事長（左）から今井事務局長・石倉財務委員長（右）にお渡ししました。

■事業団体より

今後も、県内福祉事業団体（群馬福対協・群馬トラベルセンター・こくみん共済coop 群馬推進本部・中央労金群馬県本部）として、組合員の皆様の生活応援となる事業に邁進してまいります。より一層のご協力とご利用をお願い申し上げます。

TOPICS

■利根保健生協の会員加入について 「新しい仲間が増えました！」

利根保健生協より、ぐんま労福協への会員新加入のご希望がありました。加入申請書を受理し、第3回理事会にて加入承認がされました。新しい仲間として、連携した取り組みを進めて行きたいと思えます。当協議会会員の皆様にも連携・協同の取り組みをお願いいたします。

■第65回群馬県消費者大会について

10月26日予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、書面決議となり全議案が確認されました。

■ワーカーズコープ作成映画「workers 被災地に起つ」について

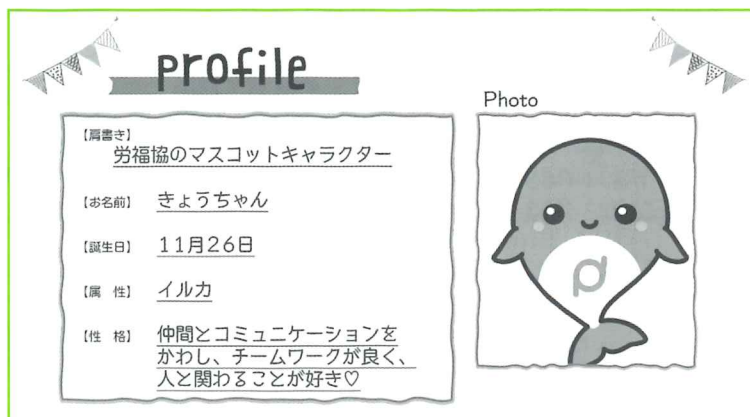
2020年12月に「労働者協同組合法」が可決・成立いたしました。この法制化を受けて、日本労働者協同組合センター事業団北関東事業本部では、群馬県内で「労働者協同組合法」の理解と浸透・活用拡大を目的に学習会を企画し、映画「workers 被災地に起つ」の上映会を行うこととなりました（於：シネマテークたかさき・10/30～11/4）。

当協議会としてこの学習会に賛同し、ワーカーズコープ事業の理解を深めていきたいと考え、映画鑑賞チケットの購入・配布と事務局で参加いたしました。

中央労福協との連携した活動

■中央労福協 第65回定期総会(隔年開催)

11月26日(金)13:30～15:30 2022～2023年度の活動方針等を決定するため、第65回定期総会をハイブリッド方式(対面とオンラインの併用)で開催されました。当協議会からは、代議員として佐藤理事長がオンライン参加しました。全議案が満場一致で承認されました。また、総会では労福協マスコットキャラクター(新設)のお披露目もありました(右図参照)。



■中央労福協 奨学金問題に関するオンライン署名の取り組み

前号で紹介のとおり、奨学金問題に関するオンライン署名・ハッシュタグアクションを継続して取り組んで参りました。11月16日現在で署名数は13,846筆となっており、中央労福協として記者会見を行い、文部科学省高等教育局学生・留学生課に署名簿を提出いたしました。

なお、オンライン署名は引き続き chnng.org にて受け付けています。ご協力よろしくお願いいたします。

▼「奨学金返済や教育費の負担を軽減するため、税制支援を求めます！」

署名ページ <http://chnng.org/GQ2cnRd88Z>

操作途中に出る「寄付」には賛同しなくても大丈夫です



■中央労福協 Web学習会・研修会(労福協事務局対象)

9月17日から12月15日にかけて、地方労福協事務局対象に、第12回～第16回 Web 学習会が開催されました。

■東部ブロック 第56回定期総会



岡田会長の挨拶

12月1日、栃木県宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにて開催され、来賓を含め1都10県より34名が出席しました(感染予防のため代議員は例年の半数とし欠席者は委任状)。

2021年度活動報告(案)、2021年度会計報告(案)・会計監査報告、2022年度活動方針(案)、2022年度予算(案)、2022-23年度役員体制(案)が審議承認されました。役員の就任はありませんでした(他省略)。



謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします。

保険業、建設・不動産、冠婚葬祭、記念品等
どんなことでもお気軽にご相談ください。

働く皆様と共に歩む
労働者福祉事業団体の



株式会社 群馬福祉対策協会

〒371-0852前橋市総社町総社2905-5
TEL 027-253-3001/FAX 027-253-4355
URL <http://www.fukutaikyo.jp>

【生命保険】アフラック募集代理店

がん保険、医療保険、介護保険（*新しく発売されました）

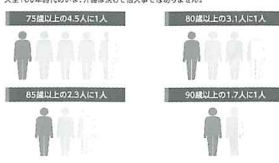


特約 1 要介護1以上に
認定された場合に
一時金をお支払いします

特約 2 要介護3以上に
認定されている場合に
介護年金をお支払いします

特約 3 要介護1以上に認定された場合、
以後の保険料の
お払込みは不要です

介護が必要になる割合
75歳以上では4.5人に1人、85歳以上では1.7人に1人の割合で介護が必要となります。
介護100年時代の到来、介護は決して個人事ではありません。



■ 公的介護サービスを受けるためにかかる費用

要介護度	在宅介護の場合	施設介護の場合
要介護5	月額 28.5万円 (月額2.4万円)	月額 39.5万円 (月額3.3万円)
要介護4	月額 22.9万円 (月額1.9万円)	月額 36.8万円 (月額3.1万円)
要介護3	月額 18.7万円 (月額1.6万円)	月額 34.4万円 (月額2.9万円)
要介護2	月額 12.3万円 (月額1.0万円)	月額 33.6万円 (月額2.8万円)
要介護1	月額 8.8万円 (月額0.7万円)	月額 31.6万円 (月額2.6万円)

※1.施設に1年間の費用を仮定して、要介護5の場合、月額平均で約40万円（1人あたり）がかかります。
※2.施設に1年間の費用を仮定して、要介護1の場合、月額平均で約30万円（1人あたり）がかかります。
※3.施設に1年間の費用を仮定して、要介護1の場合、月額平均で約30万円（1人あたり）がかかります。
※4.施設に1年間の費用を仮定して、要介護1の場合、月額平均で約30万円（1人あたり）がかかります。



新春のお慶びを申し上げます

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



新しい旅のエチケット。GOTOトラベルまもなく開始予定！
お申し込み・お問い合わせはお気軽にご相談ください。

安心・安全・感動と喜びの提供に努め、
みなさまのゆとりある暮らしづくりに貢献します



本店営業部 〒371-0852前橋市総社町総社2905
URL <https://www.gtc.or.jp> [トラベルセンター](#) [Q](#)

組合員の皆さまからの見積もり依頼をお待ちしています！

こくみん共済 NEWS



カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

セカンドカー割引

～免許を取得したお子さまに～
現在11等級以上の契約（他保険でも可）があれば7等級26%割引で加入
できます！



←マイカー共済の詳細は、
こちらの二次元コードで！

1020A005



横断旗を小学校等へ寄贈しています！



こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

こくみん共済coop群馬推進本部（群馬県労働者生活協同組合）

R 中央ろうきん Web動画サイトのご紹介！

いつでも・どこでも・何回でも視聴できる！

webサイト その1

講師が動画で
分かりやすく説明！

セミナー紹介

資産形成について

ライフプランについて

他にも、資産形成、マーケット情報、女性向け、
金融教育など豊富にラインアップ！
◀ セミナー紹介サイトはこちら

webサイト その2

商品紹介

資産運用商品や各種ローン商品について動画で分かりやすく説明！

iDeCo

つみたてNISA

投資信託

マイプラン
(カードローン)

カーライフローン
(自動車ローン)

住宅ローン

動画を見て気になったら、
Webでカンタン資料請求・仮審査申込み！
◀ 商品紹介サイトはこちら

商品の詳細は〈中央ろうきん〉群馬県内各店舗へお問い合わせください。

2022年1月1日現在